

# 令和5年度 都城市立木之川内小学校 学校運営協議会評価報告書

4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要す

本年度の重点目標 <1：学力の定着と向上 2：思いやりの心の育成 3：体力の向上 4：地域とともにある学校づくりの推進>

評価項目	評価指標	自己評価コメント	総合評価	学校関係者評価コメント	評価
知	1 授業改善を通じた学力向上	昨年度に続き、研究主題「読み解き力の育成」を目指して、学期1回の授業研究を行い、ICTの効果的な活用を含めた授業改善に取り組んだ。児童、職員と共にICTの活用に慣れ、学習効果も認められるようになってきた。この成果をもとにして、今後は「子ども主体」の授業へと改善を図っていく。 [分かりやすい授業 保:94.5% 児:98.1% 職:87.5%]	3.6	○ 「主体的に学ぼうとする」態度を育成するために、子どもの実態を適切に踏まえながら目標と評価基準を設定し、子どもが問い続ける授業の具体を整理していく必要がある。 ○ 子どもの学びを適宜確認しながら指導の改善につなげ、少人数の良さを生かしてほしい。 ○ 落ち着いた授業の雰囲気を感じられ、先生方が一丸となり熱心に指導して下さっている。 ○ コミュニケーションの部分をいかに広げ深めていくかという取組が必要ではないかと思う。	3.3
	2 木小スタンダードの定着	基本的な学習訓練についてのきまりを定めた「木小スタンダード」について共通共通実践を継続して行ってきた。その結果、落ち着いた学習態度は定着しているが、昨年度に比べ、授業に意欲をもって取り組むことができていない児童が増えた。項目1の評価と同様、職員が「子ども主体」の授業に関する研修を深め、授業改善に取り組んでいくことが課題である。 [進んで学習に取り組んでいる 保:97.7% 児:89.3% 職:87.5%]	3.0	○ 落ち着いて学習に取り組んでいる。木小スタンダードが定着している。 ○ 「分かりやすい授業」がどの視点から言えるのか不透明である。 ○ 全国学テの国語の結果から「書くこと」の点数が低いという状況から、タブレットの活用と同時に授業改善が必要である。 ○ 子どもが主体となるための先生方の関わり方等について、さらに研究して頂けると有難い。 ○ 授業に意欲をもって取り組むことができていない児童が増えている。褒めて伸ばす配慮が必要ではないかと思う。	3.1
	3 読書活動の推進	学校の年間目標に10000冊を掲げ、現在3600冊を超えたところである。図書館サポーターによる図書室経営が充実しており、児童は様々なイベントに楽しく参加することで読書数を上げることができている。今後は、読書量だけに注目するのではなく、各学年の発達段階に応じた本の選定についても指導し、読書活動の充実をさらに向上させたい。 [進んで本を読んでいる 保:69.8% 児:78.9% 職:92.0%]	2.9	○ 読書推進が図られており良好な状況にあるが、目標設定が子どもの実態に伴うものなのか疑問である。今後は読書活動を活かした言語活動の充実を図ってほしい。 ○ 読書量ではなく、自分の好きな本を一冊見つける方がいいと思う。 ○ 市立図書館の見学や校内イベント等、工夫してよく取り組んで頂いていると思う。 ○ 冊数にこだわらぬよりも感想文コンクール等を活用してどのような本に感銘を受けたのかを重視した方がいい。	2.9
徳	4 人権教育・道徳教育を通じた思いやりの心の育成	道徳の授業を中心として、すべての教育活動において推進してきた結果、友達への優しい言葉かけが多く聞かれるようになり、アンケート結果においても児童、保護者、職員ともに昨年度を上回った。しかし、学年や時期によっては、言葉遣いが良くない時もあるので、年間を継続して指導していくことが大切で、引き続き、組織全体で道徳教育の推進に取り組んでいく。 [思いやりのある行動 保:97.7% 児:88.5% 職:83.9%]	3.1	○ 子ども達の学校生活の基本は学級であり、学級での活動を計画的に進め、話し合いながら自分たちで自分の生活をより良くしようとする子どもを育ててほしい。 ○ 子ども達は友達との関わりの中で育まれる。その中で思いやりを学んでほしい。これからも個々の児童に寄り添いながら、教職員と児童とのより強い信頼関係を築いてほしい。 ○ 言葉の行き違いはあっても、いじめではないと思う。 ○ 運動会等において互いによく助け合っている姿が見られた。	3.3
	5 対人関係能力の育成	生徒指導主事を中心として、全職員がすべての児童をあいさつを交わすような取組を実践している。児童も自らあいさつができるようになってきており、大切なコミュニケーションの礎となっている。また、コロナ禍も終わり、地域との交流(卒の栽培活動、読み聞かせ、保育園との交流会等)も確実に実施できるようになったことで、児童と地域との交流が良い影響を与えていることも考えられる。 [進んであいさつ 保:93.0% 児:92.3%]	3.3	○ あいさつは「交わす楽しさ」「気持ちよさ」が大切だいつも感心している。あいさつの受け次第で質が変わる。双方向のコミュニケーションの大切さを感じる。 ○ あいさつはすべての子が元気な声でできなくても、その子に合ったあいさつができるような声かけや関係づくりが大切だと思う。 ○ 毎朝の登校時、元気よくあいさつをしてくれている。 ○ 地域では、登下校時によくあいさつをしてくれる。	3.1
体	6 体力の向上	年度当初に体力向上プランを全職員で共通理解し、体育科の授業を中心として、児童の体力向上を図ってきた。また、昨年度と比べると昼休みの制限もなくなり、積極的に外遊びをする児童が増えてきている。しかし、帰宅後や休日がほとんど自宅で過ごしている児童も多く、運動不足の要因として上がっている。今後は家庭においても、体力向上を意識してもらうための啓発を考えていきたい。 [進んで運動 職:80.2%]	3.3	○ コロナ禍による運動場の使用制限などにより、学校や家庭における運動機械が低下した影響もあるのではないかと推察される。今後、体育学習の充実と休み時間における外遊びの充実を一層図っていただきたい。 ○ コロナやインフルエンザ等の影響もあつてか学校を休みがちな子どもが多い気がする。もう少し体力、免疫力をつけてほしい。 ○ 運動会では全力で走り、体いっぱい表現していた。体力向上を意識して取り組んでいたという成果だと思う。	3.3
	7 基本的な生活習慣の定着	日常の学級指導や保健だより等の効果もあり、「早寝、早起き、朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活を送っている児童が多い結果となった。また、交通安全教室や非行防止教室等の活用により、命を大切に作る行動についても意識が高まってきている。スマホ等の電子機器の管理については、ようやく70%を超えたがまだ十分とは言えない。引き続き、家庭での管理については学校だより、学級通信等を活用し、啓発を図っていく必要がある。 [スマホ等の電子機器の管理 保:71.0%]	3.2	○ 基本的な生活習慣の定着を目指す上で、教育活動全体を通して児童の自己指導能力(適切な判断をする、自分のことを大事にする、相手のことを大事にする)を育成することを全職員で再確認し、できたら褒めたり、勇気づけたり、よくないことをしたことに児童と共に改善策を考えたりするなど、具体的な行動に移せるような手立てを講じてほしい。また、保護者との連携を一層推進してほしい。 ○ 子どもを叱る前に大人が気を付けること。 ○ スマホの活用について、家庭と連携して取り組んで頂けると有難い。	3.0
学校	8 地域とともにある学校づくりの推進	本年度も地域コーディネーターの御協力により、様々な学校支援ボランティアに本校の教育活動を支援していただいた。計画されていた行事はすべて実施することができ、児童の感想等からも大変満足していることが窺えた。その結果、昨年度よりも自分たちの地域への愛着心が増し、アンケートの結果、昨年度よりも6.7ポイント上げることができた。 [自分の住んでいる町(地区)が好き 児:90.4%]	3.5	○ 地域コーディネーターの活躍により、学校支援ボランティアが根付いている。今後は、更にコミュニティスクールを推進し、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図り、地域とともにある学校づくりに取り組んでほしい。 ○ 児童数の減少により、運動会の種目が少なくなっているため、親子団技や地域の人を巻き込んだ団技等も考えて、種目を増やしてもらうとっと楽しくできると思う。	3.7
	9 開かれた学校づくりの推進	学校便りや学級通信の定期的な発行や校ホームページ随時更新により、本校の教育活動を保護者や地域に広く情報発信してきた。ホームページは多くの方に閲覧していただくことができ、昨年度からの統計依頼、24ページアクセス(11月現在)を超えている。今後も学校の教育方針や教育活動の情報発信に努め、地域とともにある学校づくりに努めていきたい。 [分かりやすい情報発信 保:96.0% 職:100%]	3.7	○ 地域が家庭と学校間のクッションのような役割を果たすことができている。今後はたくさんのサポーターの協力、PTAとの連携が図られることが重要であり、これからは学校に開かれた学校づくりを推進してほしい。 ○ SNSの活用も良いが、一般人の人はホームページは見ない。地域の回覧板が復活してきたので、木之川内地区限定で1学期に1回程度の学校だよりを回覧板で発行してほしい。 ○ 学校のホームページをいつも楽しみに見ている。子ども達の元気な姿に感動している。	3.8